

# 照明の省エネ化による二酸化炭素排出量の削減に加え、BCP対策として、停電時に最大10時間のあかりを確保

LED一体型ベース照明 防災用Nuシリーズ

**平常時**

通常点灯

**消灯時**

ホタルック

**停電時**

非常点灯

停電を自動検知

内蔵蓄電池による

物件概要



関川村  
関川村村民会館  
農村文化交流センターの~む  
関川村立関川中学校

新潟県岩船郡関川村

主な納入器具



LED一体型ベース照明  
40形 逆富士形  
防災用Nuシリーズ  
MQVB4103/52NB-N8  
定格消費電力:34.0W  
停電検知送信機 RQ0202

LED一体型ベース照明  
40形 埋込下面開放形  
防災用Nuシリーズ  
MQEB4104/40NA-N8  
定格消費電力:26.6W  
停電検知送信機 RQ0202

LED照明器具導入による消費電力削減率



新潟県の北東部に位置し、自然に囲まれた関川村は、環境省より「脱炭素先行地域」に選定されました。2022年には「関川村グリーンチャレンジ戦略」を策定し、村民の未来を守り、持続可能な暮らしの実現に向けたさまざまな事業に取り組んでいます。その一環として、公共施設の照明をLED照明に更新し、二酸化炭素排出量の削減を推進しています。さらに、防災拠点となる中学校や施設の災害対応にあたる事務所には、事業継続を支えるあかり「防災用Nuシリーズ」を導入しました。停電時に最大10時間のあかりを確保することで、災害時の初動対応や避難指示などのBCP対策をサポートし、村民に寄り添った安心・安全なまちづくりを推進しています。



関川村は令和4年の豪雨災害を受け、防災対策の重要性を痛感しました。特に停電時のあかりの確保や防災レジリエンスの強化が課題であり、脱炭素先行地域に選定され、脱炭素化とともに地域防災の強化に取り組んでいます。公共施設のLED化を進める計画の一環として、防災用Nuシリーズを導入しました。停電を自動で検知して点灯する機能が安心・安全につながると感じました。他の施設でも、停電時にあかりが必要な場所に導入を進めたいと考えています。



関川村  
脱炭素推進室  
室長 大島 祐治様

